

## (公益社団法人)日本技術士会 近畿本部 上下水道部会 第14回全体会 議事録

日 時：2026年05月07日 18:00～18:30 ※全体会後講演会を18:30～20:00実施

開催形式：会場+Zoomによるハイブリッドで開催

参加者：67名（会場：13名、Web：54名）※全体会+講演会参加者

議長：飯盛部会長

説明資料：Zoom画面共有にて説明

※当日使用した資料は全体会次第以外掲示しません。質問のある方は部会へ問い合わせください。

- ・全体会資料
  - ・2025年度活動報告
  - ・2025年度決算報告、監査報告
  - ・2026年度活動計画
  - ・2026年度予算報告
  - ・収支検討（繰越金の推移）
  - ・2026年度幹事の変更及び役職・担当の報告

内容：上記資料を用い2025年度の活動実績と2026年度の活動計画を報告した。またCPD行事实施の実績として例会・講演会を10回、見学会2回を実施した。2023～2024年度に引き続き2025年度も実施できたこと、特に2月、3月は、懸案であった講演会を統括本部のCPD行事（新システム）として有料化にて実施したと報告、前回の全体会で報告した繰越金問題についても、今後状況を確認していくと報告した。

当部会の最大の問題である幹事不足について、依然として解決が困難な状況であることを説明し、部会員の協力を要請した。

### 1. 部会長挨拶

飯盛部会長より、開会にあたっての挨拶を実施した。

### 2. 前年度活動報告

議長より2025年度の活動報告を実施した。

①2025年5月08日に第13回全体会を開催し、2025年4月から運用開始した新たなCPD活動の運用結果及び2026年度の活動計画について説明した。

②幹事会は2026年4月の臨時幹事会を含め4回開催、特に第4回幹事会では2月、3月の有料化講演会実施状況について評価を実施、一定の効果があると思われるが、引き続き状況を調査していくと説明した。

③春の見学会は羽曳野市石川浄水場であり、コロナ以来久しぶりの浄水場として実施した。秋の見学会は京都市石田水環境センターと月桂冠大倉記念館を実施した。また講演会を10回Web+対面（会場）のハイブリッド式で実施、トータル523人の参加があり、毎年500～550名程度参加いただいているとして適切なCPD行事テーマを実施した成果と判断していると説明した。今後有料化の影響について注視していくと説明した。

④水道産業新聞については毎月の講演会・見学会に関するの記事が新聞に掲載されている。

### 3. 前年度決算報告、監査報告

①会計担当熊野幹事より、2025年度決算を報告した。

②会計監査担当の今村監事より、会計執行は適正であると報告した。

### 4. 今年度活動計画

議長より、2026年度活動計画について説明した。

①当面の例会は従来どおりハイブリッド方式で運用する。

②CPD講演会について2025年度と同様のCPD運用方法（例会担当幹事（1チーム3人）による実施方式）に従いより良いCPD講演会としていくと説明した。

③年度繰越金の件については、中長期的に有料化の実施状況を注視していくと説明した。

④講演テーマについて、幅広くテーマを求めること、会員各位の協力が必要と報告した。

### 5. 今年度予算報告

会計担当熊野幹事より、2026年度予算について説明した。

### 6. 今年度幹事の変更及び役職・担当

議長より、2026年度は業務の都合により幹事1名減となるため、部会会員各位の協力が必要であり、幹事業務の一部をサポートしていただける方を募集していると説明した。

（一部の例：講演会講師の探索、講演テーマの提案等）

### 7. その他

部会ホームページについて改修を進めている。

以上